

種名	<u>ス ズ ガ モ</u> <u>Aythya marila</u>												
													
分類	ガンカモ目ガンカモ科												
特徴	大群をなして海面に浮かぶ、背と腹の白っぽい海ガモ類。ユーラシアと北米大陸の寒帯で広く繁殖し、日本には冬鳥として渡来する。海ガモ類の中でもっとも渡来個体数が多く、1984年1月15日の日本野鳥の会による全国一斉調査では約18万羽が記録されている。狩猟鳥。												
生活	越冬地では内湾、入江など波の静かな海面に大きな群れをなしていることが多く、海に近い湖沼や川にも姿を見せる。東京湾には毎年数万羽が渡来するが、狩猟期間になると昼間は安全な保護区で休息し、夜間、海上へ分散して採餌する。海ガモ類は水かきのある脚を使って水中を泳ぎ、1分近く潜っていることもある。スズガモは主に動物質の餌をとり、特に浅い海底に棲む貝殻を好んで食べる。貝は丸飲みにし、胃で貝殻を砕く。												
声	姿はごく普通に見かけるが、鳴き声はほとんど聞かれない。オスは「ククー」と静かに鳴き、メスは「クルル」と鳴くという記録がある。しかし、この鳥の羽音は鈴の音を思わせる金属的な音でよく響く。スズガモという名前はこの羽音から名付けられたのであろう。												
見分け方	オスはキンクロハジロにやや似るが冠羽はなく、背は白に細かい波模様があって明るい灰色に見える。メスはくちばしの基部に幅広い白色部がある。飛ぶと翼の幅に広い翼帯がでることはキンクロハジロ、アカハジロと同様である。												
時期	(月)	1	2	3	4	—	—	—	—	—	10	11	12
その他	全長(L) ♂47cm ♀43cm 翼開長(W) 74~80cm												
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥													